



人々のラッキー

《総人口》
97,714 人 (+ 205)
男性 49,725 人 (+ 143)
女性 47,989 人 (+ 62)
《世帯》51,420 世帯 (+ 114)

() 内は、前月との比較です。

9・1 現在

広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせの発行日は毎月 10 日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしないを問いません。

広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851

8/16 千歳市×セガサミーホールディングス株式会社 包括連携協定を締結

千歳市とセガサミーホールディングス株式会社は、相互の連携によって地域活性化を推進するための包括連携協定を締結しました。連携事項は、交流人口の拡大やスポーツ振興など5項目からなり、両者が持つノウハウを活用して地域の魅力を高めることを目的としています。協定書に署名したセガサミー社の里見 治紀社長は「これまで千歳市とは、スポーツを通じてともに感動体験をお届けしてきた。今後もダンスレッスンやプログラミング、デジタル人材育成などさまざまな分野で提携したい」と話しました。



8/19 夏の恒例行事が帰ってきた 千歳市民納涼盆踊り大会



千歳市民納涼盆踊り大会が、3年ぶりに開催されました。前日の雨天とは打って変わって晴れ晴れとした夏らしい空模様となったこの日は、グリーンベルトおまつり広場が多くの市民で賑わいました。盆踊り大会には、自由参加を含め11の団体が参加。参加者たちは浴衣やコスプレなど思い思いの衣装に身を包み、中心市街地を練り歩きました。歩行者天国となった周辺の道路では、参加者やギャラリーが感染症対策を講じながら夏のひとときを楽しんでいました。

8/20 プロの技を間近で体験 スナッグゴルフ レッスン会を開催

北海道ゴルフ連盟が、道内の小学生を対象にスナッグゴルフレッスン会を開催しました。レッスン会はゴルフの《セガサミーカップ》に合わせて開催され、プロゴルファーが講師として参加。ザ・ノースカントリーゴルフクラブに集まった小学生10人が、プロから1時間ほどのレッスンを受けました。参加した斎藤 莉桜さんは「クラブを持つときのグリップ（握り方）のコツを教えてもらった。教え方がわかりやすく、とても楽しかった」と話しました。



8/5 「あらゆる災害に全力で立ち向かう」決意新たに 千歳消防創設 100 周年



千歳消防は、大正11年8月に初代組頭 中川 種次郎 以下35人の《千歳消防組》が結成されて以来、100周年の節目を迎えたことを記念し、北ガス文化ホールで式典を執り行いました。オープニングでは千歳機甲太鼓が迫力満点のパフォーマンスを披露し、また会場では来場者が参加する避難訓練も実施しました。記念演奏では陸上自衛隊第7音楽隊が登場し、式典に彩りを添えました。決意表明にて樋口 消防長は、千歳消防の歴史と伝統を築き上げた先人に感謝の意を表し、「これからも私たちは、持てる消防力を最大限に発揮し（中略）あらゆる災害に全力で立ち向かってまいります」と力強く宣言しました。

8/16 ふるさとポケットをPRするポスター 福地 杏夏さんがデザイン



生涯学習まちづくりフェスティバル《ふるさとポケット》をPRするポスターに、緑小学校1年の福地 杏夏さんが描いた絵が選ばれました。普段から絵を描くのが好きという杏夏さんは、自身の絵について「妹と友達、それから動物たちと一緒に遊んでいるところを描きました」と解説しました。お母さんの晴雅さんは「やさしさと思いやりがある子。絵にもそれが現れていると思います。親として、いろいろなものを見せて想像力を豊かにする環境を作っていきたい」と話しました。ふるさとポケットは、9月25日にグリーンベルトで開催予定です。



まちのできごと・マンスリーでお知らせします。

8/9 千歳産木材で作りました ファーストスプーンを贈呈



4か月児健診を受診した市内の赤ちゃんに、千歳産木材で製作したファーストスプーンを贈呈しました。ファーストスプーンは、小さなころから木製品に触れることにより、木や森林に親しみを持ってもらおうと製作したもので、市内で伐採された間伐材を使っています。付属のケースもオリジナルで、型紙作りから縫製まですべて手作りで製作しています。山口市長から第1号のファーストスプーンを受け取ったのは、まもなく離乳食が始まるという花田 湊麻ちゃん。お母さんの裕子さんは「スプーンは練習中で、まずは10倍がゆから始めてみたい。デザインがかわいくてとてもうれしい。すぐに口に入れてくれると思う」と話しました。

千歳産木材のファーストスプーン

収納ケースとともに市内の障がい者就労支援施設が製作しています。木材に地元のエゾヤマザクラを使用し、使った部分によって一本一本、色が異なるのが特徴です。柄の部分には、市のシンボルであるヤマセミまたはサケが刻印されています。赤ちゃんが口に入れやすいように先は小さめに、保護者が食べさせやすいように柄は長めに作っています。

